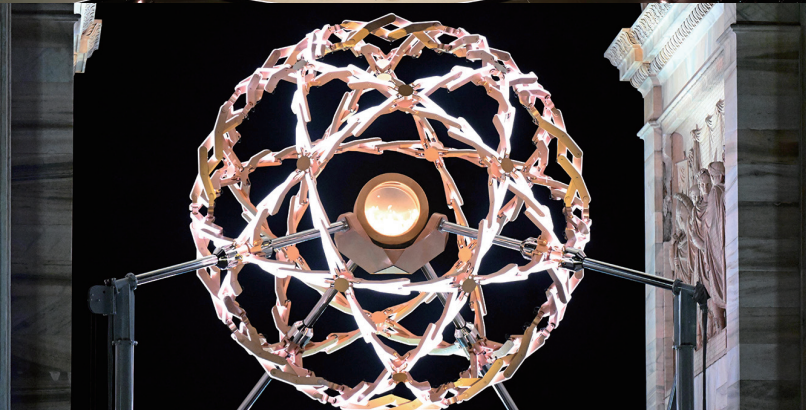




ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピックが2026年2月6日（金）から2月22日（日）までの17日間、イタリア北部のミラノ、コルティナ・ダンペツォを中心に開催されました。

イタリアではトリノ2006年冬季オリンピック以来20年ぶりに開催される冬季大会であり、コルティナでは2度目の開催。92の国と地域から約2,900人の選手が参加し、TEAM JAPANは金メダル5個を含め、歴代最多となる24個のメダルを獲得し、数々の感動的な瞬間が誕生しました。

本号では、そんなミラノ・コルティナ大会を中心に、さまざまな形で大会を支えたオリンピックたちの声をお届けします。



オリンピックコメント

原田雅彦 OLY (TEAM JAPAN副団長)

ミラノ・コルティナ冬季オリンピックでは、日本選手団が過去最多のメダルを獲得し、スポーツの力が多くの人に勇気と感動を届けてくれました。

私は日本選手団副団長として現地で選手を支える立場にありましたが、同時に一人のオリンピックとして、夢の舞台に挑み続ける選手たちの姿に大きな誇りと感動を覚えました。オリンピックは、努力を積み重ねてきたアスリートが世界とつながる特別な舞台です。この経験と感動が、次の世代の挑戦へとつながっていくことを心から願っています。



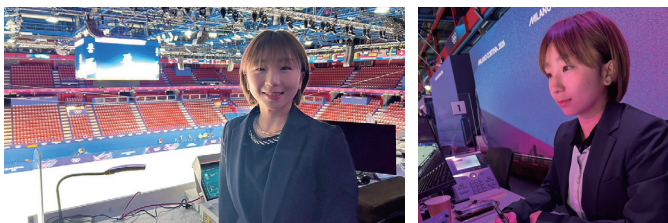
田中ウルヴェ京 OLY

大会期間中、日本代表選手団ウェルフェアオフィサー (WO) として選手村で活動しました。WOはIOCが2022年から各国NOCに配置を求めている役割で、メンタルヘルス専門家、またはセーフガーディング有資格者が任命されます。JOCでは制度設計中のため、今回はアスリートのメンタル専門家として、システムデザインの視点から、選手・コーチ・スタッフの心身の安全を支える競技環境の実態把握と、IOC主催会議への参加、各国スポーツ心理学者との議論を行いました。ロス大会へ向け提言につなげていきます。



高橋成美 OLY

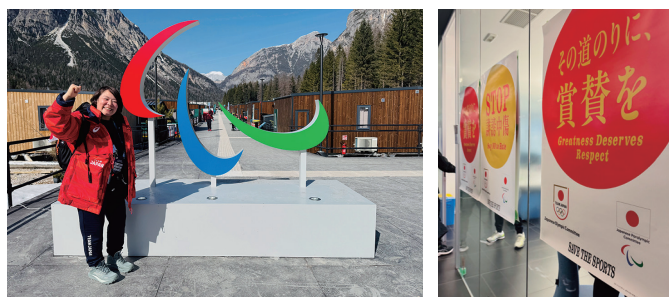
この度ミラノ・コルティナ冬季オリンピック、フィギュアスケートペアの解説者として現地で活動してきました。フィギュアスケートは選手同士の絆も強く、団体戦から始まり最後までとても感動的で強い戦いを魅せてくれました。特にペア競技では、歴史上初めてとなる日本の金メダル獲得という快挙もあり、大変盛り上がりました。このような場面に携わらせていただいたことにとても感謝しております。



谷本歩実 OLY

今大会、冬季オリンピック・パラリンピックを現地で初めて視察し、自然を相手に極限の状態ですべてのアスリートの不安や覚悟、命懸けの挑戦に深く心を動かされました。特にパラアスリートの「挑戦することで生きていることを感じる」という言葉が強く印象に残っています。結果の裏には、長年の努力や葛藤、自分との闘いがあり、自分自身も経験してきたからこそ、安心して挑戦できる支援体制や心のケア、選手を支える環境づくりの重要性を改めて実感しました。

JOCでは、「アスリートの心身を守る」取り組みの一つとして、令和7年度よりスポーツ庁と連携し誹謗中傷対策事業を開始しました。事業では、①教育 ②広報啓発 ③監視 ④人材育成 ⑤法務支援の5本柱を展開し、ミラノ・コルティナ大会では期間中24時間体制でAIと目視によるモニタリングを実施しました。大会に関連する35万件以上の投稿のうち、悪質だと判断した投稿約2千件を削除要請、うち約600件が削除されています。(パラリンピックでは、関連する投稿が約1800件、誹謗中傷にあたる投稿はゼロ) また、キャッチコピー「その道のりに、賞賛を」のもと、結果だけでなく過程を尊重する応援文化の醸成にも取り組み、投稿の94%がポジティブなコメントであったことも確認されました。



濱谷公宏 OLY

オリンピックは選手時代・ミズノでの社員時代を含めて今回のミラノ・コルティナ大会で14回目になります。中でも平昌大会は、羽生選手・小平選手・高木菜那選手、チームパシュートの金メダルなど印象的な場面が多く、強く記憶に残っています。今大会では、りくりゅうの金メダルが特に印象的でした。ショートからの大逆転という展開もあり、身近で見てきた分、喜びもひとしおでした。木原選手にとって4度目のオリンピックでの結果という点も感慨深いものがありました。大会期間中は総務として多忙な日々ですが、選手・関係者と選手村共有スペースで同じ目標に向かい、思いを共有しながら過ごす時間は、オリンピックならではのかけがえないひとときです。



OLY HOUSE MILANO CORTINA 2026

2026年ミラノ・コルティナ冬季オリンピック期間中、世界オリンピックズ協会（WOA）は、オリンピックのための特別な交流拠点「OLY House」を開設。今大会では、現地会場「OLY House Milano Cortina Hub」と、オンライン空間「e-OLY House」の二つの場を通じて、世界中のオリンピックが世代や競技を越えてつながり合う貴重な場となりました。

現地ハブでの交流

ミラノ市内の地下鉄駅構内に設置された「OLY House Milano Cortina Hub」には連日多くのオリンピックが訪れ、飲み物を片手に気軽に交流し、オリンピックウォールへのサインやフォトスポットで記念撮影を楽しみ、さらにOLYピンバッジやOLY認定証を受け取るなど、世界中のオリンピックが世代や競技を越えて交流を深めました。

また、今大会ではミラノにある小児病院に寄贈されるポスターに、訪れたオリンピックがメッセージを寄せました。



OLY Houseの入口



オリンピックウォールへのサイン



小児病院へのメッセージ

e-OLY Houseで広がるオンライン交流

現地に足を運ばないオリンピックのために開設された e-OLY Houseでは、国や時差を越えて参加できる環境が整えられ、毎日開催されたオンライントーク「OLY@8」や、アバターを使ったバーチャル空間での交流を通じて、多様な国・地域から多くのオリンピックが参加し、国や競技の枠を越えた交流が行われました。

Leave your Mark

パリ2024大会と北京2022大会では、2,000人以上のオリンピックが足跡を残した「Leave your Mark」が今大会でも実施され、多くのオリンピックがサインを残しました。



特別イベントも盛況

オンラインでの開会式のパブリックビューイングや、コルティナのスロベニアHouseで開催されたパーティーなど、期間中にはさまざまなイベントが開催されました。事前登録制の企画も多く、参加者同士が競技の枠を越えて語り合う姿が印象的でした。

OLY Houseは、「Once an Olympian, Always an Olympian」の精神のもと、競技人生を終えた後もつながり続ける場として、また、オリンピックが安心して集い、語り合い、互いを励まし合う“ホーム”として、今後の大会でも継続して設置される予定です。オリンピック会場に足を運ばれる方もそうでない方も、LA'28の際はぜひご参加ください！！



詳細はコチラ

令和7年度「オリンピックの集い」

日程 2026年1月17日（土）

会場 日本オリンピックミュージアム（JOM）（東京都新宿区）

日本オリンピックミュージアムを会場に開催し、メルボルン1956大会からパリ2024大会までの出場者を含む、24種目・40名のオリンピックが参加しました。

当日は、同館で開催中の「ミラノ・コルティナ2026冬季大会 TEAM JAPAN WINTER FEST in JOM」と連動し、参加オリンピックによる展示を活用した競技紹介や抽選会など、ミラノ・コルティナ大会を盛り上げる企画が行われました。

世代や競技の垣根を越えて語り合う姿が見られ、オリンピック同士のつながりを改めて感じられるひとときとなりました。



オリンピックの集いスペシャルバージョン in 愛知県

日程 2026年2月1日（日）

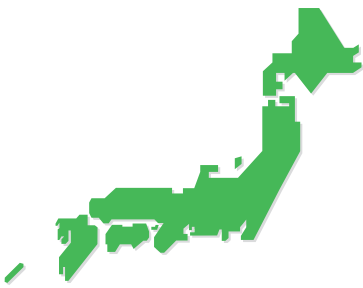
会場 中京大学名古屋キャンパス（愛知県名古屋市）

この会は、今年9月に愛知・名古屋で開催される第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会に向け、開催都市の気運を高め、オリンピック、パラリンピアン、そして大会関係者の皆さまが交流を深める場として、昨年発足した「中京大学オリンピックズの会」との共同で開催しました。

当日は、オリンピックはもちろんのこと、アジア大会の成功に向けて準備を進めるスポーツマネージャーの方々も参加。オリンピックは、出身競技のみどころ、スポーツマネージャーはご自身の担当する競技の準備状況などを紹介し、アジア大会に向けた情報交換・交流を行いました。

愛知・名古屋アジア大会アスリート委員長を務める谷本歩実理事からは、準備が進む会場や選手村について解説をいただき、学びを深めました。





令和6年度 **オリンピック巡回指導事業** 開催会場(スポーツ振興くじ助成事業)

東京都北区 8月28日(水)

●アーティスティックスイミング
王子小学校内屋内プール

共催：わくわく王子ひろば
講師：小谷実可子 OLY／藤丸 真世 OLY



青森県青森市 11月16日(土)

●アイスホッケー
盛運輸アリーナ 青森県営スケート場

共催：青森県営スケート場
講師：足立友里恵 OLY／鈴木世奈 OLY



大阪府摂津市 2月22日(土)

●バドミントン
摂津市立味舌体育館

共催：NPO法人せつつブルーウィングス
講師：山田青子 OLY／古川静香 OLY



東京都練馬区 9月16日(月・祝)

●水泳
スポーツクラブ南光

共催：スポーツクラブ南光
講師：田島寧子 OLY／今井月 OLY



主催：特定非営利活動法人日本オリンピック

新潟県十日町市 11月23日(土・祝)

●水泳
十日町市健康増進施設ひだまりプール

共催：エアアドゥ
講師：岩崎恭子 OLY



高知県高知市 2月23日(日・祝)

●バスケットボール
高知県立県民体育館

共催：高知県スポーツ振興財団
講師：大山妙子 OLY／矢野良子 OLY



宮城県仙台市 11月24日(日)

●バドミントン
七北田公園体育館

共催：(公財) 仙台市公園緑地協会日本体育施設グループ
講師：舛田圭太 OLY／永原和可那 OLY



徳島県徳島市 9月16日(月・祝)

●バレーボール
東部防災館おきのすインドアパーク

共催：シンコースポーツ四国
講師：荒木絵里香 OLY／山口舞 OLY



埼玉県戸田市 3月2日(日)

●ローイング
戸田市立第一小学校

共催：(公財) 日本ローイング協会
講師：磯富昭 OLY／浦和重 OLY



青森県青森市 2月15日(土)

●バレーボール
新青森県総合運動公園マエダアリーナ

共催：鹿内組
講師：荒木絵里香 OLY／江畑幸子 OLY



OLY

オリンピックの皆様へ
OLYのご紹介

OLYはオリンピックに出場したオリンピックのみが使用できる称号で、スポーツにおける博士号に相当し、SNSや履歴書、名刺などで氏名に併記することができます。

オリンピックに有益な情報も届くようになりますので、まだ取得されていない方はぜひご申請ください！また、OAJの会員でOLYの認証を受けた方には、限定のOLYピンをお送りしています。

OLYの詳細やOLYピンの申請方法についてはQRコードやOAJのHPにあるリンクバナーからご確認いただけます。

※OLYの対象はIOCに出場記録がある方のみのため、公開競技のみの出場やモスクワ大会の選手団の皆様、役員・スタッフ等で参加された方対象外となっております。



OLYについて

<https://www.oaj.jp/news/180426/>



OLYピン

<https://www.oaj.jp/news/180925/>



IOCとWOAによる共同宣言の発表

2026年1月、国際オリンピック委員会 (IOC) と世界オリンピックズ協会 (WOA) は、オリンピック憲章に基づきオリンピックを支援し、オリンピズムを広めていくという共通の使命をさらに前進させるため、新たな協定に署名しました。今回の共同宣言は、両組織がこれまで以上に連携を深め、オリンピックのニーズに応えながら、各国オリンピック協会が会員や社会のためにより大きな力を発揮できるよう支えていくという強い意思を示すものです。

詳細は、QRコードからWOA公式ウェブサイトをご覧ください。



WOAが初の女性会長を選出

2026年1月18日にオンラインで開催されたWOA総会で役員改選選挙が行われ、スウェーデン出身でオリンピック2冠のペルニラ・ウィバークOLYが、WOA史上初の女性会長に選ばれました。

IOCでカースティ・コベントリー氏が初の女性会長に選出された流れに続き、WOAでも新たな一歩となる歴史的な選出となりました。

その他の役員一覧などの詳細は、QRコードからご覧いただけるWOAニュースに掲載されています。



4年に一度のアジア最大のスポーツの祭典 第20回アジア競技大会（2026／愛知・名古屋）

2026年9月19日～10月4日にかけて、愛知県を中心に「第20回アジア競技大会（2026／愛知・名古屋）」が開催。さらに、10月18日～24日には、日本で初めてとなるアジアパラ競技大会も開催されます。

日本でのアジア競技大会開催は、第3回東京大会（1958年）、第12回広島大会（1994年）に続き、32年ぶり3度目となります。

競技数は、パリ2024オリンピックで実施された32競技に、野球やソフトボールなどを加えた41競技。アジアパラ競技大会と合わせると59競技が実施され、多彩な競技を通じて国際交流の促進や地域活性化が期待されています。

第20回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）

大会期間：2026年9月19日（土）～10月4日（日）16日間
参加国数：アジア45の国と地域
実施競技：パリオリンピック実施競技（32競技）
アジア5地域の競技（5競技）
組織委員会提案競技（2競技）
OCA提案競技（2競技）
合計41競技

第5回アジアパラ競技大会（2026/愛知・名古屋）

大会期間：2026年10月18日（日）～24日（土）
7日間
参加国数：アジア45の国と地域
実施競技：18競技

ミズノスポーツ振興財団助成

公益財団法人ミズノスポーツ振興財団の事務所にて同財団の水野明人会長より、日本オリンピックズ協会の「オリンピックムーブメント昂揚事業」への助成金として、200万円を贈呈いただきました。

いただいた助成金を活用し、より一層オリンピックムーブメントの推進に努めていきたいと思っております。



日本オリンピックズ協会 SNSのご紹介

Instagram

@日本オリンピックズ協会



LINE

@日本オリンピックズ協会



Facebook

@oaj.jp



YouTube

@日本オリンピックズ協会



OAJやWOAについてさまざまな情報を発信していますので、ぜひチェックしてください!!

『登録・フォロー・いいね』もぜひお願いします!!